

＜教養科目・専門科目＞

幼2種免取得者は【教職】科目必修

<専門領域科目> 1 領域専修、他領域含む2 科目選択必修

自分の得意や興味に沿って、より深く学びたい領域を 4 つの領域から 1 つ選び、2 年次に●印の3科目必修、残り2科目を選択履修します。1 年次後期末に希望調査を行います。

2 年前期 2026		2 年後期 2026		
学びを 深める		専門教育演習	探究心と協働性を高める研究活動	グループ研究
	A 医療保育領域	●A1 保育士に必要な医学医知識 子どもの健やかな成長、発達およびこ もの病気とその予防を知る ●A2 医療保育論 医療を要する子どもと家族に対して行 われる保育（養護と教育）と支援につ いて理解する	●A3 病児保育研究 体調の良くない子どもの保育を理解する A4 医療・保育連携論 体調のよくない子どもに対し医療と連携 した保育ができる力を獲得する A5 医療保育とセーフティマネジメント 医療を要する子どもと家族に対して行わ れる保育（養護と教育）において、セーフ ティマネジメントの必要性を理解する	●身につく力 医療と連携し、乳幼児の健康・病気予防・怪我への応急処置等に関する基本的知識を身に付け、現場で実践できる。
	B 児童文化領域	●B1 創作文芸 紙芝居作りと実演技術の修得 B5 子どもビジネスの世界 子どもの生活と経済活動	●B2 児童文化Ⅰ～2（表現あそび） 表現遊び（ダンス）の創作と指導 ●B3 児童文化Ⅱ～2（人形劇） さまざまな保育教材を学ぶ B4 児童文化Ⅲ～2（折り紙） 折り紙の多様な活用法	●身につく力 乳幼児の情操や想像力を育てる児童文化財の知識と実技の修得を通して、乳幼児の表現を創造する過程を援助することができる。
	C 保育表現領域	●C1 歌唱指導・楽器遊び 音楽を活かした表現を創造し、子どもと遊ぶ力の基礎としよう ●C3 子どもと運動遊び 運動あそびの実践	●C2 子どもと造形表現 版画や紙粘土を使用し、幼児の造形表現を豊かに展開する方法を体験的に学ぶ C4 ピアノ上級 ピアノ実技 C5 子どもとリズムダンス 保育者として、子どもの発達をふまえ、リズムダンスを考案し実践する	●身につく力 身体表現や音楽等の豊かな表現方法の知識と技術を修得し、乳幼児の表現方法の幅を広げることができる。
	D 特別支援保育領域	●D1 障害児の保育 障害のある乳幼児の保育を考える ●D2 障害児心理学研究 障害のある子どもの心理・行動特性を理解する	●D3 特別支援事例研究 具体的な事例に基づく支援の方法を学ぶ D4 多文化保育 保育における多文化理解 D5 インクルーシブ教育論 共生社会の基盤となるインクルーシブ教育システムの構築に向けて	●身につく力 特別な支援を要する子どもや多文化保育の理論を学び、一人一人の乳幼児に適切な援助をすることができる。
保育者としての得意分野を広げる				実践力 聖徳大学幼児教育専門学校が目指す保育者 <